

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道134号 湘南大橋 <small>しょうなんおおはし</small>	事業区分	一般国道	事業主体	神奈川県
起終点	自：神奈川県茅ヶ崎市南湖 至：神奈川県平塚市千石河岸	延長	2.7km		
事業概要	一般国道134号は、神奈川県横須賀市から神奈川県大磯町に至る延長約61kmの幹線道路である。湘南大橋は、交通渋滞の緩和を目的として、湘南大橋(上り線)の新設を含む4車線化を図る現道拡幅事業であり、これまでに延長1.5kmを供用している。				
H 5年度事業化	S 21年度都市計画決定 (S 63年度変更)	H 6年度用地着手	H 9年度工事着手		
全体事業費	83 億円	事業進捗率	56%	供用済延長	1.5km
計画交通量	41,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 7.4	総費用 (残事業)/事業全体 30/95億円 (事業費：28/93億円 維持管理費：2.6/2.6億円)	総便益 (残事業)/事業全体 226/226億円 (走行時間短縮便益：164/164億円 走行経費減少便益：33/33億円 交通事故減少便益：29/29億円)	基準年	平成19年
感度分析の結果					
事業の効果等	相模川による地域の分断やボトルネックの解消。 湘南地域の交通渋滞の緩和や緊急輸送路の整備。				
関係する地方公共団体等の意見	地元自治体からの要望があり、地域住民の期待も非常に大きい。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	近年の著しい交通量の増大や相模川の渡河断面不足により、慢性的な渋滞が発生している。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成16年度末より橋りょう下部工事に着手し、現在は下部工が完成。 平成19年度に橋りょう上部工に着手。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残る用地取得を進めるとともに道路改良工事と相模川渡河部の橋りょう上部工を行い、平成21年度の完成を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	湘南大橋と新湘南バイパスの下部工は一体で整備する計画であったが、湘南大橋の下部工を先行して整備できるよう構造を見直した。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	国道134号の慢性的な渋滞の緩和や緊急輸送路機能の充実を図る本事業の重要度は高く、事業を継続する必要がある				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。